

隠岐古典相撲（隠岐の島町）

300年前の奉納相撲が起源と伝えられ、島内で祝い事があったとき島を挙げて行われる。大人から子どもまで夜通しで取組みが行われ、その特徴から「宮相撲」、「柱相撲」あるいは「人情相撲」とも呼ばれる。



「白い船」「RAILWAYS」など島根を舞台にした作品で知られる、錦織良成監督の最新作「渾身-KON-SHIN-」（2013年1月12日全国公開）では、古典相撲を通して、島に生きる人々の心を描いている。

© 隠岐の島町役場

CONTENTS

- 2 会長「新年のご挨拶」
- 3 中国経済産業局長「新年を迎えて」
- 4～5 島根県情報産業協会情報化月間行事 講演会・交流会開催
- 5 島根県知事 溝口善兵衛氏に報告書を提出
- 6 しまねIT産業人材育成事業
- 6 RubyWorld Conference 2012開催
- 6 第18回親睦ゴルフコンペ開催
- 7 講演会等活動報告（今後の予定と実績）
- 7 協会だより
- 8 会員社紹介（第14回）株式会社コミュニティ・クリエイション 松江オフィス・株式会社バイタルリード

新年のご挨拶

一般社団法人 島根県情報産業協会
会長 吉岡 宏



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年末、政権が交替したことを機に新しい仕組みに切り替わることを期待したいと思います。人口減少に象徴される閉塞感の漂う時代ですが、将来に希望があり、夢を語れる時代にしたいものです。

私の夢

私の夢は、この地域の情報産業が持続性のある発展をすることです。今、「Ruby」というまつもとさんが中心となって開発したコンピュータ言語のお陰で、規模は小さいがソフト系IT企業の進出が多くあります。本協会で実施している実態調査でも、従事者数が5年続けて3%程度ずつ増加しています。これを永続させることです。

他のほとんどの産業が縮小し、従事者が減少する中で、この業界は奇異な存在です。この状態がどこまで続くかは、人次第です。求められるのは「人財」と呼べるようなビジネスを広げてくれる人です。

若年層のRuby教育

イチロー選手がそうであるように、一流となるには小さい時からその道に接することです。若く感性の育つ時に目指すべき道に触れることです。成人してから、いくら勉強しても追い付けないのが感性です。複雑で日々進化するITテクノロジーを素直に受け入れることができる感性。脳内神経回路を形成するシナプスがITテクノロジー向けに発達した人財。こういう人財が湧き出る地域になれば、永続的に人が集まり、ビジネスが集まるようになります。

今年度から中学校学習指導要領が改正され、「技術・家庭科」の情報に関する技術分野において、「プログラム作成」があり、これまでの選択から全員が学ぶこととなります。この地域、松江市などでは中高生向けにRubyプログラミング教室が開催されていますが、参加する子どもたちは、親がコンピュータ関係に勤めていたり、Rubyの動きに接したりした人に限られています。中学校の授業の中で全員がRubyを学ぶ機会ができれば、すそ野が大きく広がります。若い時にプログラミングに接し、ものづくりの楽しさを知り、目的を持って高等教育に進み、そして職業に就く。このようなことがこの地域で実現できたら、なんと素晴らしいことでしょう。「Ruby」が地域資源として、産業の核となる時です。

そして高等教育・ビジネスへ

少しずつ若年層へのRuby教育が普及しつつあります。そして、松江高専や島根大学にも、情報工学の専門分野で全員が学ぶ時が近づいてきています。我々情報産業に従事する者の役割は、この若年層のRuby教育を積極的に支援していくことだと考えています。

また、これらの教育を受けた多くの若者が情報産業で受け入れられ、創造性溢れる仕事に就き、ものづくりの楽しさを実感することで、ビジネスを益々広げていく原動力となって頂きたいものです。

みなさまと共に、元気で闊達な情報産業であり続けられるよう努めてまいりますので、本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

新年を迎えて

経済産業省

中国経済産業局長

井 辺 國 夫



平成25年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

我が国経済を振り返ると、平成24年の年初は震災復興需要やエコカー補助金の政策効果等により底堅い動きが見られたものの、世界経済の減速や長引くデフレ、円高の継続などにより、大変厳しい一年となりました。また、エネルギー制約の問題がクローズアップされた年でもありました。太陽光など再生可能エネルギーの導入も進みつつありますが、皆様方には引き続き節電の取り組みにご協力くださるようお願いいたします。

当中国地域の経済をみると、基幹産業である化学や、情報通信機械工業などの生産の低迷、家電・電子部品産業の再編、工場撤退などにより、雇用の喪失や活力の減退等、地域経済に深刻な影響を及ぼしています。

こうした中、経済産業省としては「円高への対応・空洞化防止・デフレからの脱却」、「電力供給不安の解消」等を最優先課題とし、企業が国内で事業継続できる状況作りに全力を挙げて取り組んで参る所存です。

中国経済産業局としましても、当地域の経済動向を丁寧に把握しつつ、以下の施策に重点的に取り組んで参ります。

第1に、企業の低炭素型設備投資や研究開発を支援するとともに、医工連携・先進環境対応車、次世代太陽電池関連産業創出等のプロジェクトを展開し、ものづくり産業の拠点形成・活性化を推進します。

第2に、地域中小企業の海外展開及びグローバル人材の確保・育成に加え、ヘルスケア産業など成長分野における取り組みを支援します。

第3に、固定価格買取制度の円滑な執行等による再生可能エネルギーの導入・利用拡大や、省エネ設備の導入等を支援します。

第4に、農商工連携や特色ある地域資源、コンテンツを活用した取組を支援するとともに、商店街、中小・小規模企業等による個性ある自立した地域産業づくりを応援します。

当地域には、非常に元気で生き活きと活躍されている女性経営者や若手経営者、経験を活かしたシニア起業家等がたくさんおられます。こうした多様な人材が活躍できる環境を整えることが、我が国を覆う閉塞感を打破するきっかけになり、大きな地域力に結びつくことを確信しております。私ども中国経済産業局職員も微力ではありますが、一丸となって皆様と地域の元気発信をお手伝いして参る所存です。

最後に、本年の皆様の御多幸と御健康を心から祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

講演会・交流会開催

平成24年度情報化月間行事として、しまね情報化講演会並びに交流会を、松江東急インで開催しました。当日は、島根県、(公財)しまね産業振興財団、(一社)島根県情報産業協会会員、しまねソフト産業ビジネス研究会会員、一般参加者等、講演会に53名、交流会に25名の出席を得て、有益な会になりました。

開催日時

平成24年
10月26日 金
15:00~19:00

開催場所

松江東急イン

1 講演会

15:00~17:10

①開会挨拶(15:00~15:10)

(一社)島根県情報産業協会 会長 吉岡 宏



開会挨拶

②講演会(15:10~17:10)

I部 <演題> スマートフォンがもたらしたUI革命、 What's next?

<講師> 株式会社ワコム

タブレット営業本部ソリューション営業部 ジェネラルマネージャー 飯嶋 睦氏

II部 <演題> RubyWorld Conference 2012 ご案内

<講師> 一般財団法人Rubyアソシエーション

理事 井上 浩氏



《講演》
株ワコム 飯嶋 睦氏

15時から開かれた講演会は、当協会今岡克己地域情報化委員長の司会進行で、主催者の吉岡宏会長の挨拶に続き、I部講演として、株式会社ワコム飯嶋睦氏から「スマートフォンがもたらしたUI革命、What's next?」と題してご講演をいただきました。講演内容は、スマートフォンとメディアタブレットにより急速に普及したタッチ・インターフェース。その利点と欠点は？ タッチを補うものは何か？ そしてナチュラル・インターフェースの今と未来、さらにそのソリューションについて

解説いただきました。II部講演では、一般財団法人Rubyアソシエーション理事の井上浩氏から「RubyWorld Conference 2012 ご案内」と題し、11月8日から開催予定の同Conferenceのテーマやプログラム内容・見どころを紹介していただきました。



講演会の様子

② 交流会

17:20~19:00

講演会に引き続き開かれた交流会は、当協会総務企画委員会中島一衛副委員長の司会進行で始まり、島根県地域振興部次長今岡良様から来賓祝辞をいただきました。会の半ばには、10月に新入会された(株)バイタルリード代表取締役社長の森山昌幸様から会社概要について紹介いただき、島根県民歌の大合唱と井上浩副会長の中締めで閉会いたしました。



交流会の様子



《来賓ご祝辞》今岡次長



《新入会挨拶》森山社長



《中締め》井上副会長

島根県知事 溝口善兵衛氏に報告書を提出

平成24年9月20日、吉岡会長、石碓副会長、井上副会長、宮崎事務局長が、溝口善兵衛島根県知事に「平成24年度ソフト系IT業界の実態調査報告書」を提出し、情報産業のさらなる振興について、支援をお願いしました。

また、10月から12月にかけて、会長並びに地元IT企業代表者が、松浦松江市長、長岡出雲市長、宇津浜田市長、山本益田市長を訪問し、各地域の実態調査報告書を提出しました。



溝口知事にアンケート報告

平成24年度 ソフト系IT業界実態調査報告書概要

平素は情報産業の発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

島根県では、平成19年度からソフト系IT産業の支援を強化して頂いており、県内情報産業の人材育成や、県外ビジネスの推進などにおいて徐々に成果が上がっていると認識しております。その効果の検証をも兼ねて、ソフト系IT関連従事者数などの実態調査を実施いたしました。島根県情報産業協会・しまねソフト産業ビジネス研究会の会員を含む県内ソフト系IT企業56社にアンケート調査を依頼し、このうち54社から回答を頂きました。その集計結果についてご報告申し上げます。

平成23年度は、経常利益については、大幅減となったものの、県内従事者数、売上額は、ともに伸長いたしました。Ruby関連では、Rubyエンジニア及び認定技術者数は二桁の伸長であり、Ruby開発売上額も103%

平成23年度 主な実績

- 従事者数(県内分) 1,123名
〈前年: 1,086名(103%)、前々年: 1,055名〉
- 売上額 17,839百万円
〈前年: 16,506百万(108%)、前々年: 13,543百万〉
- 経常利益 588百万円
〈前年: 989百万(59%)、前々年: 281百万〉
- Rubyエンジニア 215名
〈前年: 189名(114%)、前々年: 138名〉

の伸長となりました。これらの結果については島根県からのご支援があつてのことであり、更なる安定成長の為に、引き続き「IT産業振興策」の継続が必要と考えております。

今後とも、情報産業が県内産業の柱の一つとなるよう、最大の努力を惜しまない所存ですので、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

平成24年9月20日

一般社団法人 島根県情報産業協会

会長 吉岡 宏

平成24年度 しまねIT産業人材育成事業



研修会の様子 (UNIX Linux入門)

当協会では、昨年に続き島根県の「しまねIT産業育成支援事業補助金」交付を受け、4月から研修会を実施いたしました。

この研修会は、県内IT事業者の技術者のスキル・能力や、業界全体のレベル向上に役立つ人材育成講座を開催し、県内企業の競争力強化に繋げることを目的に、12月末までに19講座を開催。現在までに142名が受講し修了しています。年度末まで残り2講座が開催される予定ですので、多数のご参加をくださいますようお願い申し上げます。

RubyWorld Conference 2012 開催



RubyWorld Conference 2012の様子

Rubyアソシエーション、島根県、松江市、当協会など官民10団体でつくる実行委員会が主催する国際会議「RubyWorld Conference 2012」が11月8日、9日の両日、くにびきメッセで開催されました。4回目の開催となった今年、オープニングセレモニーにつづき、国際規格の承認を受けたRubyの生みの親である、まつもとゆきひろ氏の基調講演-1からスタートしました。公募

による事例発表では、当協会の会員社である(株)テクノプロジェクトや(株)ワコムアイティなどからRubyを使って開発したシステムが紹介されました。2日目の基調講演-2では、英語圏において最初にRubyを取り上げた書籍の著者であるDave Thomas氏がキーノートスピーカーとして招聘されました。世界有数のプログラム言語に成長したRubyの優位性をアピールした同会議は、2日にわたる開催期間中の来場者数が国内外から延べ949名となり、注目度も高まる中で成功裏に閉幕しました。また、クロージング・セレモニーでは、井上浩実行委員会副委員長から、来年のConferenceの開催意向が表明されました。

第18回親睦ゴルフコンペ開催

当協会親睦ゴルフコンペが9月22日(土)、玉造温泉カントリークラブにて18社24名参加のもと開催されました。当日は絶好のコンディションとなり、会員相互の親睦とお客様との交流を深め、にぎやかで楽しい一日となりました。

また、日本電子計算機(株)様、(株)インターネットイニシアティブ様、玉造温泉カントリークラブ様、(株)テクノプロジェクト様、(株)オネスト様、(株)ネットワーク応用通信研究所様、(株)マツケイ様、(株)日本ハイソフト様、(株)島根情報処理センター様より多数協賛品をご提供いただき、ドラゴン賞、ニアピン賞をはじめ、多数の賞品を用意することができ、盛大に表彰式も行うことができました。なお、成績は右記のとおりです。



優勝! 今岡様



参加の皆様



準優勝! 藤原様



第3位! 金山様



和やかな表彰式

- | | | |
|---------|---------|---------------------|
| 優勝 | 今岡 克己さん | (株)ワコムアイティ |
| 2位 | 藤原 文幸さん | (株)アキュートシスコム |
| 3位 | 金山 誠さん | JAひかわ |
| ベストクロス賞 | 吉岡 宏さん | (株)テクノプロジェクト(スコア83) |



ベストクロス賞 吉岡様

行事予定

平成25年(一社)島根県情報産業協会新年会

■開催日時：平成25年2月5日(火)16:00～ ■会場：松江東急イン

第一部 新年講演会 (16:00～17:20)

講演 演題／「今注目されるBIG DATA」

～BIG DATAとは何か?そこから見えてくるデータの活用方法～

講師／SAS Institute Japan株式会社

マーケティング本部 担当マネージャー 藤野誠一郎 氏

第二部 新年交流会 (17:30～19:00)

活動実績 (平成24年8月～平成24年12月)

●オープンソースカンファレンス2012 Shimane

平成24年
9月1日(土)
松江テルサ

- ▷主催 オープンソースカンファレンス実行委員会
- ▷後援 島根県情報産業協会



●平成24年度 島根県情報産業協会情報化月間行事 講演会

平成24年
10月26日(金)
松江東急イン

- ▷主催 島根県情報産業協会



●IJJパートナーCIO交流会議・交流会

平成24年
9月7日(金)
島根県立美術館内

- ▷主催 IJJ
- ▷協力 島根県情報産業協会



●RubyWorld Conference 2012

平成24年
11月8日(木)
・9日(金)
くにびきメッセ

- ▷共催 島根県情報産業協会



●島根県知事 溝口善兵衛氏に報告書を提出

平成24年
9月20日(木)
島根県庁



●CSAJ「Rubyを学ぶ」島根訪問ツアー

平成24年
11月15日(木)
・16日(金)
テクノアークしまね

- ▷主催 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
- ▷参加 島根県情報産業協会



協会だより

正会員入会

(株)バイタルリード
(平成24年10月)
住 所：島根県出雲市今市町396-1
T E L：0853-22-9690
F A X：0853-22-9715
U R L：http://www.vitallead.co.jp
代表者：代表取締役 森山 昌幸

代表者変更

(株)エネルギー・コミュニケーションズ 島根支店
新：支店長 高橋 淳一
旧：支店長 泉 和之

(株)山陰合同銀行
新：システム部長 阿川 雅哉
旧：システム部長 木幡 均

株式会社コミュニティ・クリエイション 松江オフィス

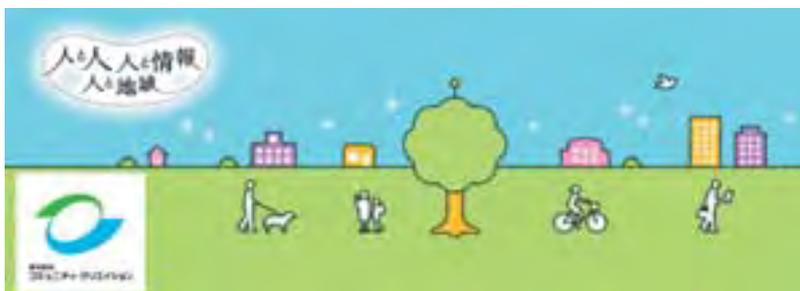
〒690-0003 松江市朝日町498 松江センタービル8階
代表取締役社長 佐藤 弘人
TEL 0852-27-5672 FAX 0852-28-6223

コミュニティ・クリエイションは2009年、東京都三鷹市の第三セクター株式会社まちづくり三鷹のIT事業部が独立する形で発足しました。

「ITによる、人・情報・地域を繋ぎ、地域力を高める創造的な活動に挑戦する」という企業理念に基づき、Ruby、図書館、子育てというキーワードで沢山の地域IT企業と繋がってまいりました。

地域ベンチャー企業でも先行投資をせずに事業参加出来るよう、「Ruby図書館システム」「子育てねっと」ほか全てのソリューションをOSS（オープンソース）のミドルウェアを利用し組み立てております。

2012年3月には島根県及び松江市より企業立地認定を頂き、松江オフィスが開業しました。今後、



松江オフィスではRubyの地の利を生かし、技術ネットワークを広げるとともに、松江に開発拠点を構築すべく、第二段階（新卒採用）を進めていきたいと思っております。

株式会社バイタルリード

〒693-0001 出雲市今市町396番地1
代表取締役 森山 昌幸
TEL 0853-22-9690 FAX 0853-22-9715

本年10月に入会した株式会社バイタルリードです。当社は交通計画を主体とするコンサルタントを主業務としており、その一環として旅行業部門も有しています。

当社の情報部門は、上記の交通コンサルタントと旅行業のサポート役として、様々なシステム開発を行ってきました。例えば、GIS（地理情報システム）を活用した公共交通の需要予測システム、デマンド型乗合タクシーの予約システム、スマートフォンを活用した聴覚障害者の方のバス利用支援システム、観光タクシーあいのりシステムなどの実績があります。

今後は、情報産業協会の一員として、情報通信部門の業務拡大を目指しており、Rubyの技術を活かしたシェアサービスシステムを開発中であるとともに、公共交通の利便性向上に向けた各種システムやサービスなど、交通に関連した地域活性化に資する事業を展開していきたいと考えています。

